

事例 13 公益財団法人イオン環境財団による森づくり

(関東森林管理局 千葉森林管理事務所)



- 千葉県君津市(きみつし)
- 協定調印式の様子

関東森林管理局では、令和2年度に公益財団法人イオン環境財団との間で協定締結による国民参加の森林づくり制度を活用したモデルプロジェクトの森「君津イオンの森」の協定を締結しました。

同財団では、国内外の地域行政と協力し、世界各地のボランティアとともに植樹活動を行う「イオンの森づくり」を始めとする環境活動に取り組んでいます。

「君津イオンの森」の協定では、千葉森林管理事務所管内の約4haの伐採跡地で、千葉県内に自生する17種6千本の樹木を植栽し、下刈り等の保育作業を実施していく計画となっています。また、「君津イオンの森」は、小中学生を始め、地域ボランティアを対象に森林とのふれあいや環境教育の場として活用することとしています。

第1回目の植樹については、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、令和3年4月にイオンの関係者のみが参加する形で実施しました。

今後は、計画に沿って、植栽等を実施していくとともに、地域の関係者と連携しながら継続して保育作業に取り組むこととしています。